

きりぐるま祭

文化部の発表や展示、運動部の模擬店などがあります。私は一、二年生では部活動の発表を中心に活動しました。家族や友人、地域の方々に向けてパフォーマンズする貴重な機会なので、練習を重ねました。本番の演技が成功したときの嬉しさは忘れられません。三年生では、クラス全員が参加する企画に力を入れました。皆で話し合い、時には意見をぶつけ、アイディアをまとめながら、全員で一つの催しに向かって協力することはとても楽しく、受験に向けてクラスの一体感も高まりました。

きりぐるま祭では、クラスの企画



体育祭

争われます。会場は例年くまがやドームです。綱引きや、クラス対抗リレー、ダンシング玉入れなどは、特に盛り上がりがあります。一番の見所は、三年生女子全員によるオープニングダンスと、三年生男子によるクラスごとの応援合戦のパフォーマンスです。女子全員の息の合った演技と、男子のユーモア溢れる演技はともハイレベルです。私のクラスが優勝したときは、全員の気持ちが一つになり、団結力が上がりました。担任の先生を胸上げしたことは、最高の思い出です。

行事

カナダ修学旅行

二年生の二学期には、カナダへの修学旅行でヴィクトリア・ウィスラー・バンクーバーの三都市を巡ります。印象に残っていることが三つあります。一つ目は、移動中のフェリーから見た夕日がとても美しかったことです。二つ目は、ウィスラーの街のおしゃれなショッピング街のような雰囲気です。三つ目は、バンクーバーの自由行動で買い物をした時、英語や身振り手振りを使って、現地の方とコミュニケーションがとれたことです。自分たちで旅行の計画を立て、外国を旅したことは、大きな自信になりました。



夢ナビ

「夢ナビ」というイベントに参加しました。様々な大学の先生が専門分野の講義をしてくださるイベントで、事前に興味がある講義を選んで受講します。私は法学の授業を受けましたが、想像していたよりも広い範囲を扱う学問だと知り、とても新鮮でした。法学部に進学したいという気持ちが高まりました。会場には他校の生徒も来ており、全国のライバルを意識して、受験へのモチベーションにもなりました。本格的に志望校を検討するきっかけになりました。

進路を考える

受験体験を語る会

先輩たちのようにになりたい。受験体験を語る会を終えてそう思いました。大学受験を終えた先輩たちの顔は、自信や誇りに満ちていました。それもそのはず、模試の数で号泣したり、精神的に苦しんだり等、様々な苦難を乗り越えてきたのですから。また、ライバルの存在が欠かせないということに気づきました。クラスメイトであり、ライバルでもある仲間たちと、受験を乗り越えてみせる。そして、今度は私が後輩たちに語ってみせる。

東大プロジェクト・補習

東高校はさまざまな学習サポートがあります。朝のターゲットや放課後の小テストは学習習慣を身につけられる上に、基礎学力が自然と身に付きます。長期休業中は希望制の補習が開講され、平常時も一年生の時は数学でサポートタイムが実施され、二年・三年では各教科の補習が行われます。特徴的なのは東大プロジェクトです。東大や難関大の演習を行います。ハイレベルですが、やる気があれば誰でも参加できます。私たちの時は全コースから参加者がいました。他大学のプロジェクトもあり、志望校に合わせたサポートがあります。私は塾や予備校に通わずに志望校に合格できました！



東北大学医学部保健学科

特進一貫コース 内田 彩希先輩

学園での六年間が全て合格に直結したと思っています。課題をこなすだけではなく、自ら必要性を考え、行動することも重要です。様々な学習サポート体制が整っていますので、敷居が高いと感じても、まずは挑戦してみてください。また、友人とお互いを高めあえる環境も魅力の一つです。信頼関係を大切に、充実した学園生活を送ってください。



大阪大学外国語学部

特進一貫コース 田村 南津乃先輩

目標としていた大学に向けて勉強してきた成果が、合格という結果に表れたことは、とても嬉しかったです。吹奏楽部との両立においても最後までやり切ったことは大きな自信になり、受験本番でも臆さず臨むことができました。先生方や後輩からの応援の言葉も励みになりました。目標に向かって努力すれば、きっと達成できます。応援しています。



東京農工大学工学部

進学コース 本田 竜雅先輩

私が志望大学に合格できたのは、東高校の手厚い指導があったからです。大学を決める際、担任の先生が親身になって一緒に考えてくださり、とても励みになりました。また、東大プロジェクト等の補習が充実しており、合格するための力を付けていくことができました。東高校でなければ私の進路目標を達成することはできなかったと思います。



群馬大学教育学部

進学コース 久保田 真由先輩

思い返すと三年前、私は国立大学に受かることは想像できませんでした。しかし、模試の判定が悪く、悩んだ日もありましたが、先生方や両親の支えがあり、最後まで諦めずにやり通すことができました。合格発表の日、自分の受験番号を見つけた時のことは、これからも忘れません。この気持ちを多くの人に感じてほしいです。頑張ってください。



受験のヒケツ

受験期に気をつけたことは体調管理です。

寝不足は生活全てに悪影響を与えるので、受験期に限らず、睡眠時間は絶対に削らないようにしました。また、受験は体力勝負です。食事もしっかりとりするようにしました。インフルエンザ対策も必須です。そして最も大切なことはリズムを崩さないことです。三学期の家庭学習期間も、私はできるだけ登校学習をして、普段と同じリズムで生活するように心がけました。メンタルが落ち込むこともあります。好きな音楽を聴いたり、体を動かしたりして気分転換をしました。大学ホームページを見て絶対に合格するという気持ちを高め、友人やライバルたちが頑張っている姿を想像して気持ちを奮い立たせました。周りで支えてくれる人や応援してくれる人のことを考えると自然と頑張れました。